

No. 208

11^{2025年}月号

いなざわ 議会だより

TOPICS

- 意見交換会を開催…………… 2
- 9月定例会の報告…………… 4
- 新しい役員構成…………… 6
- 質疑・一般質問…………… 9
- 12月定例会開催予定…………… 16

稲沢市議会

検索



表紙：祖父江のイチヨウ

意見交換会を開催しました！

市立中学校の保護者・地域学校協働活動推進員×議員

8月23日（土）に稲沢市勤労福祉会館において「意見交換会」を開催しました。

今回は、市内市立中学校の保護者をはじめ、地域学校協働活動推進員※を含め30名の方に参加していただき、「子どもたちのより良い教育環境について」の意見交換をしました。

ここでは、意見交換会の様子を紹介いたします。

なお、アンケート結果及び報告書については下記の二次元コードからご覧いただけます。

アンケートでいただいたご意見・ご感想（一部抜粋）

- ・ネーミングが堅苦しいので、参加しやすいネーミングにしてはどうか。
- ・もっとざくばらんに話せる機会があると良い。
- ・子育てに関してもっと関心を持っていきたい。
- ・子育てしやすい環境を整えてもらいたい。
- ・防犯カメラの設置について進めていただきたい。
- ・議会の見学者を増やす工夫をしたらどうか。
- ・他地区の現状が知れて良かった。

※地域学校協働活動推進員：各小中学校に1人配置されており、地域と学校をつなぐコーディネーターとして活動。



子どもたちのより良い
教育環境について

意見交換会でいただいたご意見（一部抜粋）

- ・ 防犯面や安全面の観点から、雑草等の整備をしてほしい。
- ・ 夏休みの出校日の猛暑対策として、オンライン化してほしい。
- ・ 市としてエアコン等の設置基準の明確化や、特別教室に対する整備の優先順位について、検討してほしい。
- ・ 1クラス編成では、教育の質や集団活動への支障をきたしている。
- ・ プールの授業が少なく、コストとの兼ね合いを含めて見直していくべき。
- ・ テスト期間中は特に図書館の自習室が混んでいるため、自習室の拡充をしてほしい。
- ・ 給食の品数が減っているので、量を増やしていただきたい。
- ・ 部活はコミュニティの1つであり、身近にあった方が良い。
- ・ 部活動の地域移行により、指導者不足やグラウンドの確保が課題となる。
- ・ 大里東地区では、学校と地区が連携してあいさつ運動やボランティアを行っている。
- ・ 地域資源（企業や施設）と連携し、教育に対する支援を拡充すべき。
- ・ ボランティアについては大学生や高校生を呼んで年配の方を助け、世代を超えて1つになればいいと考える。
- ・ 生のこどもの声を聞く「熟議」をするように市から指示をしていただき、学校に取り入れていただきたい。
- ・ 土地はあるけど遊び場がない、子どもたちが発散できる場所がほしい。



アンケート結果



報告書

会議結果の報告

9月定例会では、市長提出議案が36件提出されました。議決結果は5ページをご覧ください。
ここでは一般会計補正予算の主なものを紹介します。

※万円未満切り捨て

令和7年9月定例会

9月8日～30日

議案第92号 令和7年度稲沢市一般会計補正予算(第4号) … 補正額8億9,877万円
(これにより一般会計予算の総額は、604億1,539万円となりました)

総合文化センター解体事業に係る用地取得費…1億4,064万円

都市再生機構が所有する北側の土地を購入。

国民健康保険事業基金積立繰出金の増額…1億円

財政運営の安定強化を図り基金の積立を行うため、国民健康保険特別会計への繰出金を増額計上。

道路舗装改良工事の増額計上…1億500万円

稲沢地区の市街化区域内の生活環境の改善を目的とした、有蓋化事業に係る費用…2,500万円
地元要望工事に係る費用…8,000万円

下水道管路緊急点検に伴う公共下水道事業負担金の増額…1,080万円

埼玉県八潮市で発生した、下水道管路の破損による道路陥没事故を受け、下水道事業会計で実施する調査に対して、負担金を計上。

稲沢北児童クラブ整備に係る経費の計上…555万円

定員超過解消のため、稲沢北小学校の既存児童クラブに隣接した新たな児童クラブを増設するため、計上。

- ・設計料…550万円
- ・手数料…5万円

9月定例会 議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第 75 号	稲沢市病児・病後児保育施設の設置及び管理に関する条例の制定について	賛成多数可決
議案第 77 号	稲沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 79 号	稲沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 81 号	稲沢市道路占用料条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 83 号	稲沢市準用河川占用料条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 85 号	稲沢市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 87 号	赤池調整池整備工事の請負契約の締結について	全会一致可決
議案第 89 号	稲沢市道路線の認定について	全会一致可決
議案第 91 号	令和 6 年度稲沢市公共下水道事業会計利益の処分について	全会一致可決
議案第 93 号	令和 7 年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致可決
議案第 95 号	令和 7 年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致可決
議案第 97 号	令和 7 年度稲沢市公共下水道事業会計補正予算（第 1 号）	全会一致可決

議案番号	件名	議決結果
議案第 76 号	稲沢市水道料金等審議会条例の制定について	全会一致可決
議案第 78 号	稲沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 80 号	稲沢市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 82 号	稲沢市公共用物管理条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 84 号	稲沢市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 86 号	稲沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第 88 号	稲沢市道路線の廃止について	全会一致可決
議案第 90 号	令和 6 年度稲沢市水道事業会計利益の処分について	全会一致可決
議案第 92 号	令和 7 年度稲沢市一般会計補正予算（第 4 号）	賛成多数可決
議案第 94 号	令和 7 年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致可決
議案第 96 号	令和 7 年度稲沢市病院事業会計補正予算（第 1 号）	全会一致可決

認定第 1 号	令和 6 年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
認定第 3 号	令和 6 年度稲沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
認定第 5 号	令和 6 年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
認定第 7 号	令和 6 年度稲沢市水道事業会計決算認定について	継続審査
認定第 9 号	令和 6 年度稲沢市集落排水事業会計決算認定について	継続審査

認定第 2 号	令和 6 年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
認定第 4 号	令和 6 年度稲沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
認定第 6 号	令和 6 年度稲沢市病院事業会計決算認定について	継続審査
認定第 8 号	令和 6 年度稲沢市公共下水道事業会計決算認定について	継続審査

報告第 14 号	令和 6 年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	—
報告第 16 号	専決処分の報告について	—

報告第 15 号	令和 6 年度決算に基づく資金不足比率の報告について	—
----------	----------------------------	---

請願第 1 号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願	全会一致採択
請願第 3 号	インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める請願	賛成少数不採択

請願第 2 号	「消費税減税を求める意見書」の国への送付を求める請願	賛成少数不採択
意見書案第 2 号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	全会一致可決

同意案第 8 号	人権擁護委員の推薦について 被推薦者：本田耕治 氏	全会一致同意
同意案第 10 号	監査委員の選任について 被選任者：平岡弘行 氏	全会一致同意

同意案第 9 号	教育委員会委員の任命について 被任命者：大崎正敬 氏	全会一致同意
同意案第 11 号	監査委員の選任について 被選任者：近藤治夫 氏	全会一致同意

賛否が分かれた議案

	創生会												市民クラブ				公明党 稲沢 市議団	日本共産党 稲沢 市議団	会派に 属さない 議員							
議案番号	大野紀之	鶴野大助	土岐優子	平床健一	平野賀洋子	杉山太希	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	吉川隆之	木村喜信	六鹿順二	鈴木純子	岡野次男	志智央	木全信明	星野俊次	日比野貴子	朽本敏子	服部俊夫	曾我部博隆	小柳彩子	平野泰弘	山田崇夫
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
請願第2号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●
請願第3号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●

※吉川隆之議員は採決時には議長であったため採決に加わりません

(○は賛成、●は反対)

令和6年度各会計決算は継続審査

令和6年度一般会計等の9つの会計決算については、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

委員会開催日：10月15日（水）、16日（木）、20日（月）

決算特別委員会委員

委員長 服部礼美香 大野紀之 平野賀洋子 日比野貴子
副委員長 志智 央 鈴木純子 服部俊夫 黒田哲生

議会役員の改選

議長をはじめとする役員改選を行いました。6～8ページをご覧ください。



議長
木全 信明



副議長
津田 敏樹



監査委員(議会選出)
近藤 治夫

市民の皆様には日頃から市議会活動ならびに市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

市民の皆様の声に耳を傾け、その負託にお応えすべく、市議会に課せられた責任を十分に認識し、公平かつ円滑な議会運営と、稲沢市の発展のために努力してまいります。

今後とも市民の皆様には、更なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

稲沢市議会議員一同

総務委員会

委員長 副委員長		委員				
	北村太郎		小柳彩子	土岐優子	日比野貴子	岡野次男
						
	服部俊夫		服部礼美香	木村喜信	木全信明	

文教厚生委員会

委員長 副委員長		委員				
	黒田哲生		山田崇夫	平床健一	平野賀洋子	近藤治夫
						
	大野紀之		吉川隆之	星野俊次	曾我部博隆	

経済建設委員会

委員長 副委員長		委員				
	杉山太希		鵜野大助	鈴木純子	津田敏樹	六鹿順二
					 	
	平野泰弘		朽本敏子	志智 央		

※稲沢市議会ホームページ
議員名簿 委員会名簿

議会運営委員会(議員政治倫理審査会兼務)

委員長

服部礼美香

鵜野大助

平床健一

日比野貴子

副委員長

志智 央

服部俊夫

黒田哲生

星野俊次

議会改革推進特別委員会

委員長

朽本敏子

鵜野大助

平床健一

平野賀洋子

副委員長

岡野次男

杉山太希

服部俊夫

志智 央

広報広聴委員会(市議会だよりの編集・発行は下線委員のみ)

委員長

星野俊次

大野紀之

土岐優子

杉山太希

日比野貴子

鈴木純子

副委員長

平野賀洋子

服部俊夫

北村太郎

黒田哲生

服部礼美香

朽本敏子

都市計画審議会委員(令和7年10月23日～令和9年10月22日)

小柳彩子

平野泰弘

岡野次男

黒田哲生

六鹿順二

国民健康保険運営協議会公益代表委員

山田崇夫

日比野貴子

鈴木純子

黒田哲生

曾我部博隆

市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、13人の議員が質疑・一般質問を行いました。

ここではその質問と答弁の一部を掲載しております。

なお、すべての質問については、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧いただけます。

13議員が登壇

①杉山太希	議員	②朽本敏子	議員
③土岐優子	議員	④服部俊夫	議員
⑤星野俊次	議員	⑥平野泰弘	議員
⑦小柳彩子	議員	⑧山田崇夫	議員
⑨鈴木純子	議員	⑩曾我部博隆	議員
⑪岡野次男	議員	⑫日比野貴子	議員
⑬北村太郎	議員	※発言順	



GIGAスクール構想 について

創生会
すぎやま たいき
杉山 太希 議員



Q GIGAスクール構想が始まって一定期間が経過し、端末更新の時期を迎えるにあたっては、国の補助制度により一定の支援があるが、端末購入に対する補助の状況はどうなっているか。

A 新しい端末を導入するにあたっては、費用負担を平準化するためリースでの契約を行っていく。国の補助制度としては、端末1台あたり上限55,000円の内2/3が補助となっているので、その制度を最大限有効活用できるように準備を進めていく。

Q 次期端末の選定にあたって、現在の端末を使

用した課題を踏まえて、どのような改善や配慮がされているか。

A 現在の端末では、故障などで修理を要することが多く、対応しきれていないことが大きな課題となっている。そのため、次期端末では、起動の速さや操作性がスムーズであるだけでなく、壊れにくい丈夫な端末であることも重点において選定している。





小・中学校の暑さ対策について

公明党稲沢市議団
とちもと としこ
朽本 敏子 議員



Q 地球温暖化の影響により近年は酷暑で、夏休み前でも最高気温が35度を超える日が年々増加している。小学生の下校時間帯は1日の中でも特に日差しが強く熱中症リスクが高まる。小学生の保護者から「学校から帰ると真っ赤な顔をしてぐったりしている。下校時は水筒も空っぽかぬるくなっていて、首のアイスリングも冷たさは無い。対策は出来ないか」と相談があった。どのようにお考えか。

A 厳しい暑さの中、歩いての下校は熱中症のリスクが高く、命に関わる重大な問題と認識している。学校管理下ではない時間帯だからこそ、学校、家庭、地域が一体となって見守る体

制を構築することが重要と考える。学校では、こまめな水分補給、冷却グッズの活用、体調不良時には無理をしないことを日頃から呼びかけている。

Q 全国の自治体では、冷却グッズを配布したり、保冷材用冷凍庫を各校に設置、昇降口にミストシャワーを設置、マイボトル用給水機を設置しているなどある。津島市も全ての小・中学校に冷凍庫を設置する。本市も冷却グッズを冷やす冷凍庫とマイボトル用給水機を設置できないか。

A 現在整備計画は無い。学校内にエアコンが未整備の特別教室や体育館があることも課題である。限られた財源の中、優先順位をつけ検討を進めて参りたい。



農業経営基盤強化促進事業における利用権設定の促進について

創生会
とき ゆうこ
土岐 優子 議員



Q 農業者等の協議の場の設置について、令和7年3月31日付けの地域計画策定・公告から約半年経過したが、進捗状況は。

A 令和7年4月以降、地域の担い手として、令和7年8月に、祖父江地区で認定農業者1名に対し、利用する農用地を定め、地域計画を更新している。また、千代田地区で新規就農者1名に対し、利用する農用地を定め、今後、地域計画を更新する予定である。いずれも文書による協議を行っているが、今後、協議の場の開催方法については、地域計画の協議内容によって、対面での方法も含めて検討していく。

Q 本市は7つの区域に分け、地域計画の地図を作成しているが、どの地図にも凡例がなく、緑色一色となっている。凡例で農業に携わる方ごとに利用する農用地を可視化することが法の目的ではないか。

A 地域計画に位置づけられた農業者が耕作する農用地を示しているが、地域計画に位置づけられた農業者によって農用地の集積や集約化の規模なども異なるため、地図上での可視化に向け、まずは一定規模以上の農業者を色分けで表示し、段階を踏まえながら改定していく。





稲沢市における 平和行政について

日本共産党稲沢市議団
はっとり としお
服部 俊夫 議員



Q 原爆パネル展や戦争展に、市民から寄せられた声を紹介されたい。

A 「被爆者の願い、核廃絶」、「長崎被爆三世です。このような展示ありがとうございます」、「私はまだ生まれて13年しかたっていない。13年でさえも生きれなかった子どもや同級生、また生きたかった人へこの手紙を書く」など、戦争体験者や子どもまで寄せ書きや折り鶴をいただいている。

Q 核兵器のない世界の実現にむけた市長の見解を伺う。

A 核兵器をめぐる国際情勢が一層厳しさを増

す中、核戦争を決して行ってはならない。世界平和の実現に向けた行動が広がることを願っている。核兵器禁止条約への参加など外交政策は、国の動向を見守りつつ、非核・平和都市宣言に基づいた非核平和事業を展開していく。

Q 稲沢夏まつりの自衛隊の展示ブースに戦闘車両である軽装甲機動車が展示され、市民が記念撮影を行っていたが、平和のまつりにふさわしくないのではないか。

A この車両は、戦闘行為のPRではなく、災害救助で使用された車両である。出展の内容はまつりの実行委員会において判断いただくものと考えている。



財政状況と歳入 確保について

市民クラブ
ほしの しゅんじ
星野 俊次 議員



Q 令和6年度決算書の決算収支では、財政調整基金^{※1} 3億7,153万5千円を初めて取り崩した。その理由と今後の見通しは。

A 令和6年度決算は、人件費増加や物価高騰に伴う不用額^{※2}の減少などにより、実質収支が約16億6,400万円減少し、財政調整基金を取り崩すなど基金や市債を最大限に活用した。9月補正予算後の財政調整基金残高は、約20億5,400万円となっている。今後は、できる限り財政調整基金繰入金を減額し、必要な財源を確保する必要がある。

Q 未収金対策などのほか、新たな発想による歳

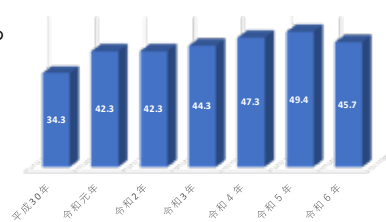
入の確保として、寄付者に選ばれる、ふるさと納税・クラウドファンディング・寄付などを全庁で取り組んで本市の魅力を発信してほしい。ふるさと納税寄付金の現状や課題は。

A 企業版ふるさと納税寄付金は、令和6年度決算額が1,570万円であり、令和5年度の90万円と比べ増加している。一方、個人のふるさと納税寄付金は、令和6年度決算額が6,573万9千円で、令和5年度の2億4,083万4千円に比べ大幅な減額となり、貴重な財源に影響を与えている。新しいアイデアを全庁的に掘り起こしながら、新たな歳入確保について積極的に探求していく。

※1 財政調整基金：突発的な災害や急を要する経費に備えるために積み立てておく基金

※2 不用額：予算として計上されたが、年度内に使われずに残った金額

財政調整基金の推移（億円）





災害・事件時の児童・生徒・教職員のストレスマネジメントについて

ひらの やすひろ
平野 泰弘 議員



Q 災害や子どもが巻き込まれる事件・事故は、子どもの身体面、感情面、認知面、行動面や教職員の心にも大きな影響を与え、学習や生活や指導に支障をきたす恐れがある。このような危機が発生した場合、子供の心のケアのための体制作りを行い、迅速かつ柔軟に対応する必要がある。学校現場においてどのような対応や支援が可能か。

A 児童生徒が災害や事件・事故に遭遇し、強い恐怖や衝撃を受けた場合は、不安や喪失感など心理的なストレスだけでなく、食欲不振や不眠など身体症状が現れることが多くある。教職員についても、震災などの災害発生時は、

被災体験に加え、被災した児童生徒の心のケアの困難さがストレスになることが心配される。教育委員会としては、災害等が発生した場合、児童生徒や教職員のストレスに対して適切に対応できるよう、愛知県教育委員会に対してスクールカウンセラーを要請するなど、専門職を活用し、心の悩みや多様な問題に寄り添い、支援したいと考えている。



選挙に係る運営について

こやなぎ さやこ
小柳 彩子 議員



Q 選挙費用について、候補者の選挙経費の公費負担、ポスター掲示場設置等の運営に係る費用、投開票に係る選挙費用、選挙公報に係る選挙費用はいくらか。

A (以下のグラフのような回答である)



※愛知県議会は無投票選挙
候補者の公費負担は、本市から支払われる選挙は市の選挙のみ

Q 現在、有権者数は約10万9千人となっているが、選挙の際の投票用紙は何枚用意しているか。

A 今回の参議院通常選挙では、投票用紙は国から県を通じて、本市へは選挙区用と比例代表用、それぞれ11万1千枚交付されている。当日、各投票所に用意する投票用紙は、直近の選挙人名簿登録者数等を勘案した数を用意している。

Q 使用されなかった投票用紙や保管期限を過ぎた投票用紙はどのように処理されるのか。

A 使用されなかった投票用紙、使用された投票用紙の保存期間は、それぞれ法令で定められている。本市では、保存期間中は選挙管理委員会の専用倉庫内で厳重に保存しているが、保存期間の過ぎた投票用紙は、環境センターにて焼却処分している。



稲沢市病児・病後児 保育事業について

やまだ たかお
山田 崇夫 議員



Q 職員配置は、保育士2名、看護師等1名の常駐を原則とするがあるが、例外はあるか。

A 例外として、利用児童が発生した際に、連絡を受けた保育士及び看護師等が速やかに出勤して業務に従事するなど、柔軟な対応が可能となる職員体制が確保されている場合には、利用児童がいないときの保育士及び看護師等の常駐を要件としない、などの規定がある。

Q 利用金額の根拠は。

A 近隣市町との均衡や、全国的な傾向、運営経費等を踏まえ、月額2,000円となる。なお、利用者の負担能力に応じ、生活保護世帯は0円、

市民税非課税世帯は1,000円としている。また、市税等を財源として整備・運営することから、市外在住者の利用料は市内在住者の2倍の4,000円としている。

Q 事前登録制だが急な対応時の受け入れは可能か。

A 突然の病気の際にも利用できるよう、予約状況に空きがあり、利用開始までに書類等がそろえば、登録と同時の利用を可能とする予定である。



公立保育園における 午睡と荷物について

市民クラブ
すずき じゅんこ
鈴木 純子 議員



Q 本市の公立保育園で午睡、いわゆるお昼寝はどのように行われているか。

A 年少児は4月から9月上旬まで行い、年中・年長児は6月から8月まで行っている。なお、お昼寝は強制ではないため、眠ることができない子は、一定時間、横になって体を休めた後、室内で静かに遊ぶなどして過ごしている。

Q 公立保育園に子どもを預ける際の荷物は、水筒及び通園バッグの中に、ループタオル、コップ、エプロンなど毎日必要なものを入れている。さらに夏には、プールバッグ、汚れた着替えが増えることもある。そして、一番負担とな

るのが、お昼寝用の布団である。送迎する保護者は、どんな天候でも多くの荷物を抱えて、布団は金曜日に持ち帰り、洗濯をし、また月曜日に持ってくる。多子であれば、2倍3倍となる。その負担軽減の一環で、お昼寝の持ち物がシーツとタオルケットだけになるよう、午睡用コット（ポリエステルメッシュ布の簡易ベッド）や天日干し不要のマットレスを導入できないか。

A 人数分確保することが必要なことから、財政的な面と使用しない時期も含め、常時保管するためのスペース確保の問題があり、現在のところ導入は考えていない。



公立保育園へ持参する荷物



水道料金の値上げ問題について

日本共産党稲沢市議団
そがべ ひろたか
曾我部 博隆 議員



Q 県水は令和6年10月から使用料金が1㎡あたり28円となり、2円の値上げとなった。令和7年はどれくらい負担増になるか。

A 本市の県水の予定受水量は642万㎡で、1,284万円の増額となる見込みである。

Q 水道料金等審議会を設置し、市民の声を聴くことは良いことである。しかし、「稲沢市水道事業経営戦略」で令和9年度と令和14年度の二回に分けて値上げするとしている。審議会を設置し、市民の意見を聞く体裁をとっているが、結局どのような答申があっても水道料金を計画通り値上げするのではないか。

A 令和7年3月に策定した「稲沢市水道事業経営戦略」において、現行の水道料金では令和9年度に赤字に転じると見込んでいる。将来にわたって水道を安定供給していくためには管路耐震化事業、老朽管更新事業、浄配水場の施設更新が必要である。これらの費用と、物価高騰、人口減少による料金収入の減少などを踏まえて、事業を継続していくためには料金改定は避けられないと考えている。



地域交通の充実について

市民クラブ
おかの つぎお
岡野 次男 議員



Q 回数券については、高校生議会でも提案があった。回数券を導入できないのであれば、利用者を増やすための代替案は。

A 「下津・大里線」の路線の一部見直し及び、バスの運行状況をスマートフォンでリアルタイムに確認できる「バスロケーションシステム」の導入を検討し、利用者の増加を図っていく。

Q 公共交通を維持していくための新たな取り組みは。

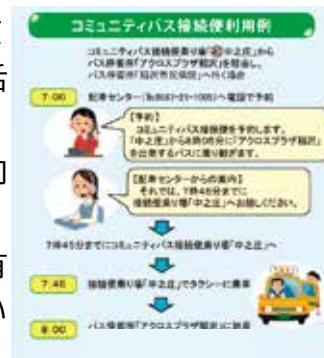
A コミュニティバス運行事業の財源確保として、ワゴンバスの車体における有料広告の実施を、来年度に向けて検討している。

Q 例えば、コミュニティバス接続便乗り場の上赤池から、指定バス停留所のリーフウォーク稲沢まで行き、バスを利用しないことは可能か。

A コミュニティバス接続便から必ずバスに乗り継がなければいけない決まりはないので、接続便のみの利用だけでも問題ない。

Q 現在、本市内にて利用実績のある移動スーパーは本数や販売ルートに制限がある。それを補完するために、事業者との連携を拡大してはどうか。

A 移動スーパーを実施する事業者から申し出があれば、買い物支援や地域の見守り活動など、市民生活の利便性と安全性の向上に繋がるので、地域住民とも情報共有しながら対応していく。





命を守り、健康を 育む取り組みについて

公明党稲沢市議団

ひびの たかこ
日比野 貴子 議員



Q 子どもたちが自分や他者の命を大切にし、危険から身を守る力を育む教育は、今を生きる上で欠かすことができない。内閣府と文部科学省が連携して作成した「生命の安全教育」は「子どもを性被害から守る新たな予防教育」とであると位置づけている。命や性に関わる教育を一層充実させるために、本市として今後どのような方向性を持っているか。

A これまでの取り組みにおける課題や教員のニーズの把握に努め、研修内容を検討したり、研修会や外部講師の派遣に関する情報を提供したりしていく。また、各種会議の中で各校の取り組みについて情報交換をすること

を通して、取り組みや事例を共有し、よい実践を広めていけるようにしていく。

Q プレコンセプションケアとは、妊娠を考える前から、将来の妊娠や出産、そして自分自身のライフデザインに備え、自分の健康を整える考え方である。不妊や生活習慣病のリスクを減らすためにも、妊娠前からの健康づくりを広める必要がある。本市において、プレコンセプションケアについて周知、啓発していく考えは。

A 国や県の記事を参考にしながら、市ホームページで紹介していく。



施設案内表示について

創生会

きたむら たろう
北村 太郎 議員



Q 市内の文化財や観光地に、設置されている看板の設置数、設置状況と管理方法、内容はどのようなか。また外国語の表記はあるか。

A 稲沢市に所在する指定文化財については、所在地すべてに駒札・説明板を合計64か所に設置しており、文化財の由来等を記している。毎年、市内を3回に分けて文化財パトロールの際に設置状況の確認を行い、必要に応じて修繕を行っている。なお、外国語の表記はない。案内看板は、稲沢駅、国府宮駅、森上駅、六輪駅及び市役所に設置している観光案内図なども含めると、合計33か所に設置している。内容については、歴史的背景の概要など

を表示し、市民や来訪者に有益な情報を提供するように努めている。また、観光地の名称は、英語表記も行っている。

Q 色や形など稲沢らしさがある統一感のある看板にしてはどうか。

A 現在、一部看板に本市マスコットキャラクター「いなッピー」を取り入れるなど、親しみやすさと稲沢らしさの表現に努めている。今後、順次デザインの工夫を取り入れるなど、段階的に統一を図っていく。

Q 指定文化財の駒札・説明板において、2次元コードをつけてはどうか。

A 生涯学習課で管理する駒札・説明板を確認し、可能な箇所から対応したい。



©稲沢市いなッピー

井之口学校給食センターで 給食の試食会を行いました

9月19日(金)に、文教厚生委員会のメンバーで、井之口学校給食センターにおいて給食の試食会を実施しました。提供されたメニューはごはん、キャベツ入りメンチカツ、切り干し大根の和風サラダ、五目汁、牛乳で、栄養バランスが取れた内容でした。

また、調理場では衛生管理や効率的な作業が徹底され、安心して食事を提供できる環境が整っていることを確認しました。今後も、より質の高い学校給食の実現に向けて努めてまいります。



議会のライブ配信を ご覧いただけます

本会議の映像をYouTubeにてライブ配信します。下記の二次元コードを読み取っていただくと、稲沢市議会公式チャンネルへ移行します。

ご視聴に際しては、稲沢市議会ホームページの議会ライブ配信(本会議)に記載のある注意(免責)事項をお読みいただき、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、一定期間アーカイブ配信を行っていますが、編集映像が出来上がり次第、アーカイブは削除いたします。次回のライブ配信については、右記の日程で行いますので、是非ご覧ください。

また、過去の録画映像につきましては、引き続き、ホームページからご覧いただけます。



※稲沢市議会公式
チャンネル

次回の定例会は 12月5日(金)開会

質疑・一般質問

- ・12月10日(水)
- ・12月11日(木)
- ・12月12日(金)
- ・12月15日(月)(予備日)

常任委員会

- ・12月16日(火) 総務委員会
- ・12月17日(水) 文教厚生委員会
- ・12月18日(木) 経済建設委員会

閉 会

- ・12月23日(火)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。(審議の妨げとならないように、携帯電話の電源を切り、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。)日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

次回の議会だよりは令和8年2月
発行予定です。

発行／稲沢市議会
編集／広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL 0587-32-1459
FAX 0587-32-1124



※お問い合わせ
フォーム

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。